浜松市立西都台小学校　活動報告

「コミュニカティブで楽しい授業を目指して」～『かかわり』を大切にしたコミュニケーション活動の工夫～

（１）単元名　What time do you get up?　（第６学年　Lesson ６）（３／４）

（２）導入・ウォーミングアップ

〇ＡＬＴと１から６０までの数字を英語で言う練習をする。

〇模型の時計を使って、英語での時刻の言い方を練習する。

〇フラッシュカードやかるたとりゲームで「get up」などの生活に用いる言葉を復習する。

　ＡＬＴの言葉を集中して聞き、生活に用いる言葉を繰り返し練習した。英語のアクセントに慣れ親しむために、大きな声ではっきりと発音した。

（３）活動

〇「Hi,friends!2」の「Let’s Listen②」の活動を通して、登場人物のさくらと自分の１日の生活を比べる。

〇「何時に何をするか」の聞き方と答え方の練習をする。

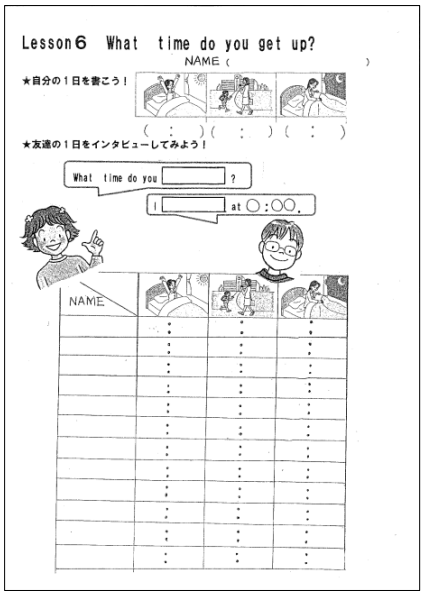
What time do you _____ ?

I _____ at ○ :○○.

【 get up ／ go to school ／ go to bed 】

〇友達やＡＬＴと、何時に何をするかを英語でインタビューし合う。

　仲のよい友達だけで活動することがないように男子３人、女子３人と指定をして多くの友達と交流できるようにした。また、インタビューの最後に一言感想を言ったり（日本語でも可）、はじめと終わりに「Ｈｉ.」や「Ｂｙｅ.」などのあいさつをしたりして、単にフレーズを読み上げるだけの活動にならないようにした。


Lesson６　What　time do you get up?

NAME（　　）

★自分の１日を書こう！

（　：　）（　：　）（　：　）

★友達の１日をインタビューしてみよう！

What　time do you [　　] ?

I [　　] at ○:○○.

NAME			

（４）振り返り

〇あらかじめ振り返りの視点（「インタビュー内容が印象に残った人とその理由」）を伝えておく。

　友達の１日の生活を聞き取ろうと熱心に耳を傾けることができた。

（５）課題と成果

〇友達とのインタビューで条件を付けたことで、積極的に交流する子供の姿が見られた。

〇１から６０までを繰り返し発音することで言葉に慣れ、時間を英語で表現することに抵抗がなくなってきた。

●インタビューでは、相手に聞いてみたい、伝えたい、と思えるような課題設定の工夫をして、形だけのトレーニングにならないようしたい。

●　「me too.」「too late.」などの反応の言葉を増やしていきたい。